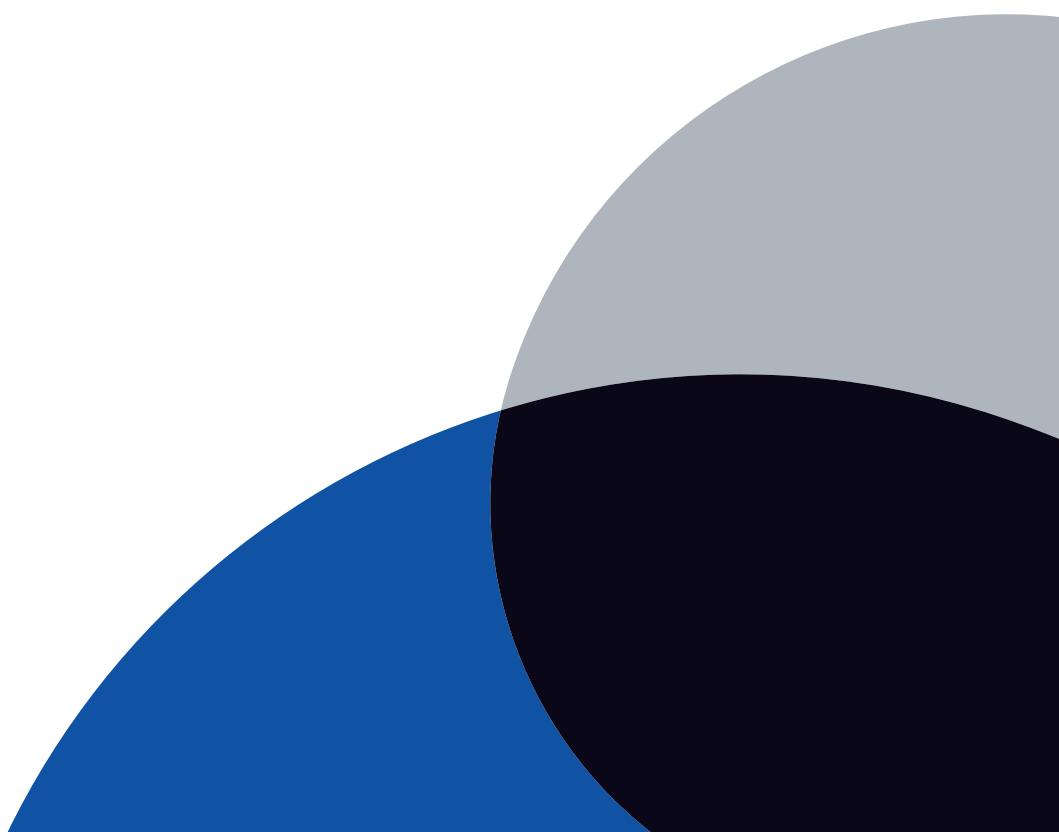




第18期上半期 2014年1月1日～2014年6月30日

SIOS Report Vol.16



SIOS is Innovative Open Solutions

1997年の創業以来、オープンソースソフトウェアの開発と利用を軸に、OS（基本ソフトウェア）からWebアプリケーションにいたるソリューションの提供を通じて、新たな価値を創造します。

株主・投資家の皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第18期上半期（2014年1月1日～2014年6月30日）の「SIOS Report Vol.16」を皆様にお届けし、当上半期の業績のご報告とともに、今後の見通し等につきましてご説明申し上げます。



代表取締役社長
喜多伸夫

当上半期のポイント

■ 売上高 3,645百万円（前年同期比 11.2%増）

- ▷ 「Red Hat Enterprise Linux」⁽¹⁾は堅調な伸び
- ▷ 「LifeKeeper」⁽²⁾は大規模案件の減少等により横ばい
- ▷ オープンソースソフトウェア⁽³⁾（以下、「OSS」）のサポートサービスやOSS関連商品は順調に推移
- ▷ MFP向けソフトウェア製品⁽⁴⁾は引き続き大幅伸長
- ▷ クラウドコンピューティング⁽⁵⁾（以下、「クラウド」）分野の製品・サービスが順調に推移

■ 営業利益 53百万円（前年同期比 63.6%減）

■ EBITDA^(※) 86百万円（前年同期比 52.4%減）

- ▷ 営業・マーケティングの強化、自社製品開発のためのR&D投資（前年同期比44.6%増）、および人員増員（前年同期比30名増）等の費用負担により減益

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

以上により、当上半期の業績は、次頁の財務ハイライトに記載する結果となりました。

当上半期における売上高は3,645百万円と前年同期比で11.2%増と二桁の増収となりました。

利益面におきましては、営業・マーケティングの強化や自社製品開発のための先行投資、積極的に人員採用を進めたこと等により販売費及び一般管理費は1,371百万円（前年同期比20.0%増）となり、営業利益は53百万円（同63.6%減）となりました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は86百万円（同52.4%減）となりました。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

目次

株主・投資家の皆様へ	1
財務ハイライト	2
サイオスの取り組み	3、4、5、6
要約連結財務諸表	7、8
事業概況(連結)	9
会社概要/株式の状況	10

(1) オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(2) 米国子会社SIOS Technology Corp.の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(3) ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(4) プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFP上を効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。

(5) コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できるコンピュータの利用形態。

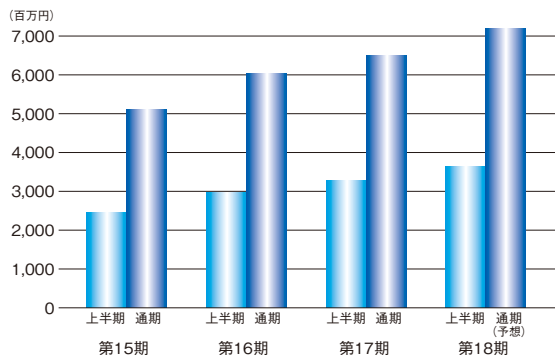
(単位：百万円)

	第15期		第16期		第17期		第18期	
	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期(予想)
売上高	2,457	5,110	2,980	6,029	3,278	6,624	3,645	7,200
営業利益(△損失)	△ 158	△ 155	△ 0	111	147	246	53	100
経常利益(△損失)	△ 159	△ 161	△ 2	106	157	265	60	100
当期純利益(△損失)	△ 167	△ 247	△ 45	34	116	110	4	30
包括利益	△ 170	△ 273	△ 40	85	192	230	△ 24	—
EBITDA*	△ 2	151	146	293	181	322	86	200
総資産	2,795	2,775	2,884	3,005	3,228	3,196	3,360	—
純資産	1,551	1,447	1,385	1,514	1,694	1,751	1,691	—
1株当たり当期純利益(△損失)(円)*	△ 19.36	△ 28.55	△ 5.21	3.97	13.44	12.71	0.47	3.41
1株当たり純資産(円)	175	164	160	175	194	199	192	—
社員数(名)*	209	214	228	232	232	238	262	—

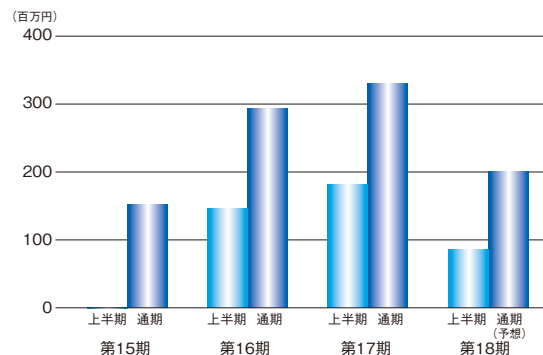
*EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

*2013年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っており、各会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算定しております。社員数は、期末時点での正社員人数と派遣社員・契約社員の平均雇用人数の合計です。

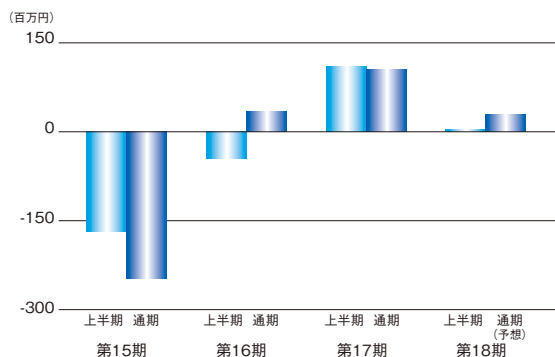
売上高



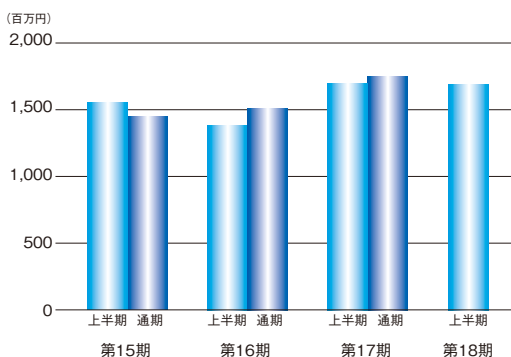
EBITDA



当期純利益(△損失)



純資産



2014年度 成長戦略のポイント

当社グループは2014年度を新たな成長起点の年と位置づけ、「製品力強化のための研究開発」「競争力強化に向けた人材投資」「新規分野の拡大」を積極的に進めています。

具体的には、ビッグデータソリューション^(*)6)やMBaaS^(*)7)等の新たな事業分野に積極的に取り組むとともに、「LifeKeeper」のバージョンアップやOSS製品の拡充、MFP向けソフトウェア製品及びクラウド関連製品の機能拡張のための積極投資を進めています。さらに、コアビジネスであるOSS関連ソリューション、事業継続ソリューション、クラウドソリューション等におきましては、営業・マーケティングの強化や積極的な人員採用等により競争力強化を推進しています。

2014年度は増収を見込む。営業損益以下の項目は
中期計画達成に向けて積極投資を行うため減少を見込む

単位：百万円	2013年12月期 実績	2014年12月期 通期予想	前年同期比
売上高	6,624	7,200	+8.7%
営業利益	246	100	△59.4%
経常利益	265	100	△62.3%
当期純利益	110	30	△72.9%
EBITDA	322	200	△38.0%

当上半期における成長戦略投資の成果として、「LifeKeeper」の新バージョンをリリース、クラウド対応を強化しました。また、新たなOSS関連商品として、ゲームやSNS等の大規模なWebサイトでの利用が拡大している米国Nginx, Inc.のWebサーバーソフトウェア「NGINX Plus」^(*)8)の販売を開始しました。新規事業であるビッグデータソリューションにおいては、ビッグデータの収集サービス「SIOS Data Collector」、及びビッグデータの加工・出力サービス「SIOS Data Mart」の発売を開始しました。

また、米国子会社であるSIOS Technology Corp.及びGlabio, Inc.においても新製品の開発を進めており、今後も継続的成長実現のため、これらの投資を続けてまいります。

(*)6) サイオスが提供するビッグデータソリューションは、大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。

(*)7) MBaaS (Mobile Backend as a Service) の略。スマートフォンアプリの開発に必要な汎用的機能を提供し、スマートフォンアプリを効率よく開発できるクラウドサービス。

(*)8) 米国のNginx, Inc.の開発製品。OSSのWebサーバーソフト「Nginx」を基に、アプリケーションロードバランシングや高度なキャッシュコントロール等、各種機能を追加した商用製品。

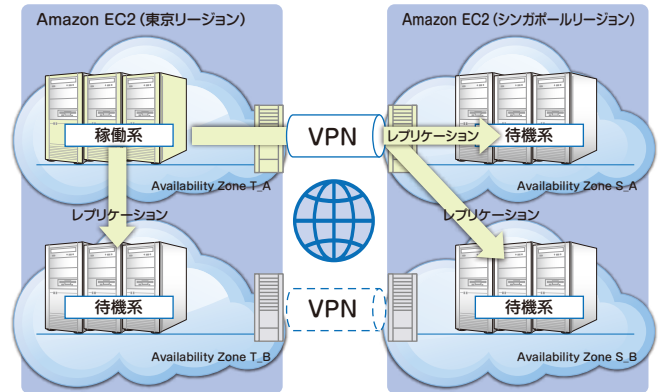
自社製品「LifeKeeper」「DataKeeper」のクラウド対応

クラウド対応の最新版

「LifeKeeper for Linux ver.8.3」の販売開始

企業のITシステムのクラウド化が急速に進む中、企業からはグローバルなクラウドプラットフォームへの対応が求められています。

新バージョンでは、アマゾンウェブサービス^(*)9)の世界10カ所の地理的に離れた地域間で災害対策システムの構築が可能になりました。これまでは国内のみでの対応でしたが、今後は大規模障害の発生時にもサービス継続が可能となります。

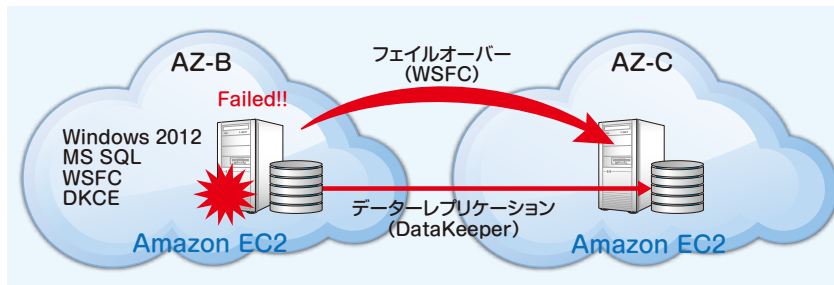


*アマゾンウェブサービスでのシステム障害時の対応例

自社製品「DataKeeper」のクラウド対応事例

「DataKeeper」はリアルタイムにデータの複製を行い、システムの障害時に障害直前までのデータを保全し、安定した稼働環境を実現するシステムです。

中古車流通業を展開する株式会社ガリバーインターナショナル様は、社内システムのアマゾンウェブサービスへの移行で、機能・コスト・効果等を総合的に評価され、「DataKeeper」の全面採用を決定いただきました。



*「DataKeeper」を活用した既存システムのAWSへの移行イメージ図

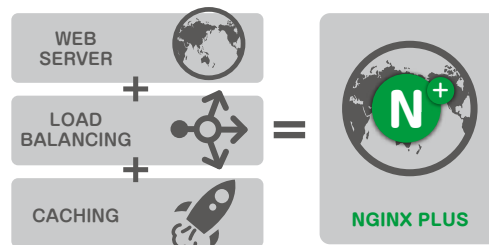
当社は、プラットフォーム・クラウド市場において、ウェブサービスに対応する製品の販売を引き続き強化してまいります。

^(*)9) Amazon.comがWeb事業者や開発者向けに仮想サーバーのレンタル等、インフラ系のクラウドサービスを提供するオンラインサービス。

Webサーバーソフトウェア「NGINX Plus」販売開始

「Nginx」は、世界トップ1千サイトの約4割が採用しており、Eコマース・ゲーム・SNS・動画配信等の高速かつ負荷の高いWebサービスを中心に、約1億4千万サイトで利用されています。

このOSSとして公開されている「Nginx」に企業向けの機能拡張を付加した商用製品「NGINX Plus」を米国Nginx, Inc.との提携のもと、日本ではじめて販売を開始いたしました。

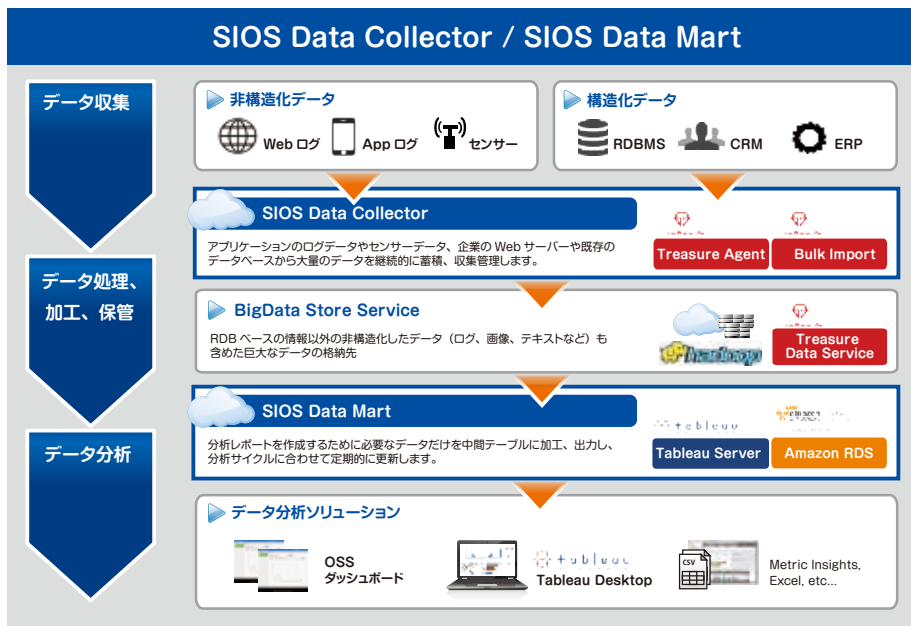


ビッグデータの活用をワンストップ化するサービスの販売開始

当社は、これまで大規模データをクラウド上で蓄積・管理するサービス「Treasure Data Service」と大規模データを分析するサービス「OSS Dashboard」や「Tableau」を提供してきました。

これらに加え、企業ユーザーのビッグデータ活用の利便性を更に高めるために、データ収集サービス「SIOS Data Collector」及び分析に必要なデータの集約サービス「SIOS Data Mart」の提供を開始いたしました。

これにより、ビッグデータサービスのワンストップ提供が可能となりました。



2014年度 成長戦略 今後の予定

オープンシステム基盤事業

米国子会社にて開発中の**クラウド向け新製品**の販売開始

Webアプリケーション事業

米国子会社Glabio, Inc.にて
MBaaSプラットフォームの**サービス**開始

第3四半期以降も、引き続き継続的成長の実現のため、クラウド向け新製品やMBaaS等、景気の波に左右され難い最先端分野への投資を継続し、事業拡大に注力してまいります。

株主様への利益還元

■ 当期配当予想 (2014年12月期)

▶ 現時点での業績予想を前提に、1株当たり**5.0円**の配当予定

	第15期 2011年12月期 (3期前)	第16期 2012年12月期 (前々期)	第17期 2013年12月期 (前期)	第18期 2014年12月期 (当期予想)
年間配当	0.00円	3.00円 ^(※)	5.00円	5.00円

(※) 2013年7月1日付で1株につき100株の株式分割を実施しているため、前々期の年間配当は株式分割補正後の値を記載

■ 配当方針

▶ 経営成績、財政状態および今後の事業展開を勘案し、必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を継続していく方針です。

連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度末 2013年12月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2014年6月30日
資産の部		
流動資産	2,869,824	3,008,467
現金及び預金	1,733,011	1,981,236
受取手形及び売掛金	841,917	738,710
仕掛品	23,556	16,708
繰延税金資産	26,283	32,862
前渡金	130,810	167,061
その他	114,759	72,112
貸倒引当金	△ 513	△ 223
固定資産	327,028	352,095
有形固定資産	117,501	118,685
無形固定資産	41,376	47,548
投資その他の資産	168,150	185,860
資産合計	3,196,852	3,360,563

(単位:千円)

	前連結会計年度末 2013年12月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2014年6月30日
負債の部		
流動負債	1,326,225	1,541,822
買掛金	236,338	232,147
1年内返済予定の長期借入金	5,508	4,308
未払法人税等	1,699	68,090
前受金	883,015	993,813
引当金	6,900	104
その他	192,763	243,358
固定負債	118,679	127,543
長期借入金	6,148	4,594
退職給付引当金	112,531	113,053
その他	—	9,896
負債合計	1,444,904	1,669,365
純資産の部		
株主資本	1,968,492	1,929,648
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	476,557	476,233
利益剰余金	30,997	△ 8,771
自己株式	△ 20,582	△ 19,333
その他の包括利益累計額	△ 220,802	△ 249,110
新株予約権	2,502	9,041
少数株主持分	1,755	1,618
純資産合計	1,751,948	1,691,197
負債純資産合計	3,196,852	3,360,563

◆ 連結貸借対照表 ◆

資産

流動資産は、現金及び預金の増加248百万円、売掛金の減少103百万円等の要因により、3,008百万円（前連結会計年度末比4.8%増）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加20百万円等の要因により、352百万円（同7.7%増）となりました。

この結果、総資産は、3,360百万円（同5.1%増）となりました。

負債

流動負債は、前受金の増加110百万円、未払法人税等の増加66百万

円等の要因により、1,541百万円（前連結会計年度末比16.3%増）となりました。

固定負債は、127百万円（同7.5%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,669百万円（同15.5%増）となりました。

純資産

純資産合計は、配当金の支払い43百万円、為替換算調整勘定の減少28百万円等の要因により、1,691百万円（前連結会計年度末比3.5%減）となりました。

連結損益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 自 2013年 1月 1日 至 2013年6月30日	当第2四半期累計期間 自 2014年 1月 1日 至 2014年6月30日
売上高	3,278,216	3,645,265
売上原価	1,987,690	2,219,707
売上総利益	1,290,526	1,425,557
販売費及び一般管理費	1,143,118	1,371,963
営業利益	147,408	53,594
営業外収益	11,795	7,518
営業外費用	1,803	145
経常利益	157,400	60,967
特別利益	4,200	—
特別損失	294	—
税金等調整前四半期純利益	161,306	60,967
法人税、住民税及び事業税	33,065	64,205
法人税等調整額	10,983	△ 7,275
法人税等合計	44,049	56,930
少数株主損益調整前四半期純利益	117,256	4,037
少数株主利益又は少数株主損失(△)	336	△ 137
四半期純利益	116,919	4,174

連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 自 2013年 1月 1日 至 2013年6月30日	当第2四半期累計期間 自 2014年 1月 1日 至 2014年6月30日
少数株主損益調整前四半期純利益	117,256	4,037
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	74,857	△ 28,308
その他の包括利益合計	74,857	△ 28,308
四半期包括利益	192,114	△ 24,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,777	△ 24,133
少数株主に係る四半期包括利益	336	△ 137

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 自 2013年 1月 1日 至 2013年6月30日	当第2四半期累計期間 自 2014年 1月 1日 至 2014年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,303	380,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 165,812	△ 53,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,899	△ 42,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	97,950	△ 36,601
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,541	248,224
現金及び現金同等物の期首残高	1,586,154	1,733,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,707,696	1,981,236

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書 ◆

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ248百万円増加し、1,981百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益60百万円、減価償却費31百万円、売上債権の減少額96百万円、前受金の増加額122百万円、未払金の増加額21百万円、法人税等の還付額42百万円等の要因により、営業活動により得られた資金は380百万円(前年同四半期は207百万円の獲得)となりました。

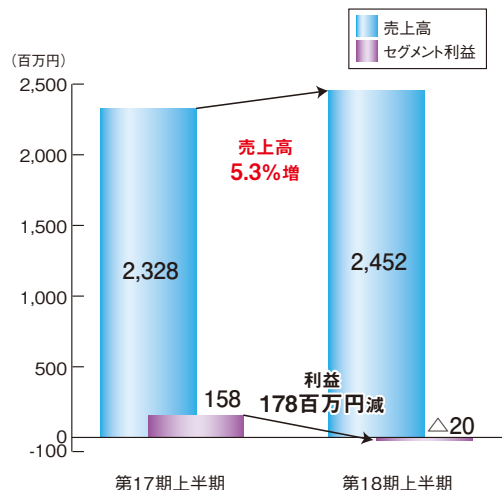
投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出20百万円、無形固定資産の取得による支出12百万円、投資有価証券の取得による支出20百万円等の要因により、投資活動により使用した資金は53百万円(前年同四半期は165百万円の使用)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額43百万円、新株予約権の発行による収入3百万円等の要因により、財務活動により使用した資金は42百万円(前年同四半期は17百万円の使用)となりました。

■ オープンシステム基盤事業



売上高 2,452百万円 (前年同期比 5.3%増)

セグメント利益 △20百万円 (前年同期は 158百万円)

売上高

[国内]

- ・「Red Hat Enterprise Linux」が堅調
- ・自社製品「LifeKeeper」は大規模案件の減少等により横ばい
- ・OSSのサポートサービスやOSS関連商品が順調に推移

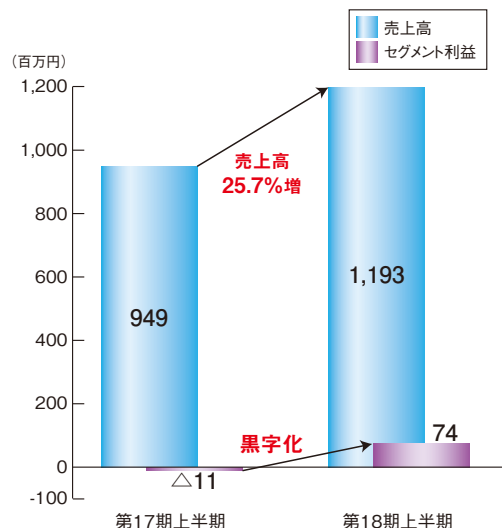
[海外]

- ・米州は堅調

セグメント利益

- ・新製品開発のための積極的な投資
- ・技術・営業社員の増員
- ・「Red Hat Enterprise Linux」は競争激化により利益率が低下

■ Webアプリケーション事業



売上高 1,193百万円 (前年同期比 25.7%増)

セグメント利益 74百万円 (前年同期は △11百万円)

売上高

- ・MFP向けソフトウェア製品は大幅伸長
- ・「Gluegentシリーズ」をはじめとするクラウド分野の製品・サービスが順調に推移
- ・ビッグデータソリューションは想定を上回る

セグメント利益

- ・研究開発や人員採用を積極的に行い販管費が増加したが、売上の伸長により黒字化

会社概要

会社名 サイオステクノロジー株式会社
(英語表記：SIOS Technology, Inc.)

本社住所 東京都港区南麻布2-12-3

設立 1997年5月23日

資本金 1,481百万円

社員数 連結 262名 個別 185名
(社員数は、期末時点での正社員人数と派遣社員・契約社員の平均雇用人数の合計。)

役員	代表取締役社長	喜多伸夫
	取締役	大塚厚志
	取締役	福田敬
	取締役	藤枝純教
	常勤監査役	平松祐樹
	監査役	古畑克巳
	監査役	齋藤哲男

子会社 SIOS Technology Corp.
(California, USA)

株式会社グルーゼント
(東京都港区)

赛欧思(北京)科技有限公司
(北京市、中国)

株式会社SIIS
(東京都港区)

株式会社ストックラボトリー
(東京都港区)

Gladio, Inc.
(California, USA)

株式の状況

発行可能株式総数 15,000,000株

発行済株式総数 8,874,400株
※自己株式80,500株を含む

株主数 3,597名

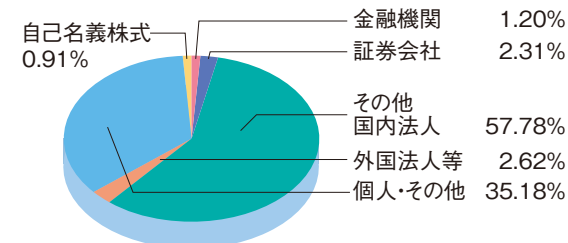
●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)大塚商会	1,593,300	18.12
テンプスタッフ(株)	1,500,000	17.06
喜多エンタープライズ(株)	920,000	10.46
日商エレクトロニクス(株)	746,300	8.49
喜多伸夫	256,400	2.92
NOMURA INTERNATIONAL PLC LONDON SECURITY LENDING	209,900	2.39
富士通(株)	110,000	1.25
稲畑産業(株)	100,000	1.14
日本証券金融(株)	91,300	1.04
大塚厚志	83,500	0.95

(注)持株比率は、自己株式80,500株を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

株式数比率



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸ノ内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国支店でっております。 ■住所変更等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東証マザーズ
コード番号	3744